

# 大阪 あちこち

## ●安中新田会所跡旧植田家住宅

はじめに

平成21年5月6日に開館予定の安中新田会所跡旧植田家住宅（以下「旧植田家住宅」という。）は、八尾市にとって歴史民俗資料館、埋蔵文化財調査センター、しおんじやま古墳学習館に次いで4番目の文化財関連施設です。旧植田家住宅は主屋1棟、土蔵2棟、控舎1棟、表門1棟等からなる江戸時代から大正時代にかけての建築物で、平成17年4月に土地と古文書、書画、陶磁器、生活民具、河内木綿等の資料を併せて本市に寄贈を受けました。



### 歴史的価値

旧植田家住宅のある八尾市植松町は、かつての奈良街道が通っており、住宅の建て替えも行われているものの、昔の街並みが残っており、この歴史的景観に寄与する建造物であることから平成18年3月に国登録有形文化財となりました。

その後、寄贈された資料を本市と関西大学ならわ・大阪文化遺産学研究中心で調査した結果、正徳元年（1711）の「安中新田分間絵図」が発見され、当地が宝永元年（1704）大和川付替えによって開発された安中新田の会所跡であったことが判明しました。また建物についても江戸時代の軸組みが遺存していることが確認されたため、平成18年5月にそれぞれ八尾市指定史跡並びに八尾市指定有形文化財に指定されています。



### 整備

大和川付替えに伴い、府内で多くの新田開発が行われ、管理のための会所が設けられていましたが、現在、残っているのは東大阪市の鴻池新田会所（国重要文化財）と大阪市の南加賀屋新田会所だけです。旧植田家住宅は会所の敷地が特定でき、会所建物の一部が確認できる施設として、不明な点の多い大和川の付替えを考える上で、様々な情報を提供してくれる建物です。

本市では、旧植田家住宅を大和川の付替えと昔のくらしを学ぶための施設として活用を図るため、平成19年から2ヵ年をかけて整備しました。主屋、土蔵等は柱材のうち老朽化の進んだ材を取替え、また、寄贈を受けた資料を収蔵するための収蔵展示施設を新たに建設しました。

### 管理と活用

旧植田家住宅の活用には、地域振興という点に重点を置き、市民のニーズに素早く応えることができる指定管理者制度を導入しました。今後は、文化財である主屋等の公開とともに市民参加型の講座や地域と連携した様々なイベント等を展開していく予定です。



### ▼お問い合わせ先▼

八尾市教育委員会文化財課

TEL 072-924-8555

E-mail [bunkazai@city.yao.osaka.jp](mailto:bunkazai@city.yao.osaka.jp)